



# 2024年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年7月28日

上場会社名 榊本興業株式会社

上場取引所 東

コード番号 8052 URL <https://www.tsubaki.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 香田 昌司

問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員 (氏名) 瀧澤 准志

TEL 06-4795-8832

四半期報告書提出予定日 2023年8月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2024年3月期第1四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年6月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	26,103	14.3	1,277	56.0	1,453	49.2	1,011	51.0
2023年3月期第1四半期	22,830	8.5	819	0.8	974	2.0	669	3.4

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 2,043百万円 (235.0%) 2023年3月期第1四半期 610百万円 (2.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	161.43	
2023年3月期第1四半期	106.98	

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第1四半期	79,702	35,304	44.0
2023年3月期	84,474	34,039	40.0

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 35,088百万円 2023年3月期 33,806百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期		30.00		120.00	150.00
2024年3月期					
2024年3月期(予想)		30.00		110.00	140.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 2023年3月期の期末配当金には、特別配当10円が含まれております。

## 3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	50,000	3.4	2,180	3.8	2,360	3.8	1,570	4.8	250.68
通期	100,000	7.4	4,250	16.7	4,600	15.4	3,050	16.8	486.98

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期1Q	6,497,969 株	2023年3月期	6,497,969 株
期末自己株式数	2024年3月期1Q	233,854 株	2023年3月期	233,797 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期1Q	6,264,141 株	2023年3月期1Q	6,260,529 株

(注)当社は、役員株式交付信託を導入しており、当該信託が保有する当社株式を期末自己株式数及び期中平均株式数の算定上控除する自己株式に含めております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注記事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照下さい。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9
3. その他	11
・ 補足情報	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、ロシアによるウクライナへの軍事侵攻の継続や資源価格の高止まり、中国の景気減速など、前期末の状況と同様に不安定なまま推移いたしました。

国内においても、新型コロナウイルス感染症は再拡大の兆しもあり、インフレの継続に加え為替相場は円安の状況が継続するなど、経済活動は依然として盛り上がりを欠いております。

このような状況下において、当企業グループでは、お取引に関わる全ての皆様の安全・健康に配慮しながら、企業活動をコロナ禍以前に戻し、目標に邁進しているところであります。

この結果、豊富な受注残高を概ね納期通りに販売することができており、当期の売上高は前年同期を上回ることであり各利益は大幅に増加することができました。

当第1四半期連結累計期間の業績は、

売上高	261億3百万円	(前年同期比)	114.3%
営業利益	12億77百万円	(前年同期比)	156.0%
経常利益	14億53百万円	(前年同期比)	149.2%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	10億11百万円	(前年同期比)	151.0%

となりました。

報告セグメントの業績は以下のとおりです。

#### 東日本本部

北海道・東北・甲信越・関東地区が担当エリアであり、全体の売上高の約34%を占めております。

当第1四半期連結累計期間は、前年度の受注残高を順調に売上計上しており、半導体製造装置関連部品は若干弱含みであるものの、産業全体に供給する動伝部品の売上高は前年同期を上回り、設備装置関連については、ほぼ倍増となりました。このため、本部全体の売上高は89億25百万円（前年同期比127.9%）となりました。

#### 西日本本部

北陸・関西・中国・四国・九州地区が担当エリアであり、全体の売上高の約33%を占めております。

当第1四半期連結累計期間は、重工業向け等の動伝部品は順調に前年同期を上回る売上高となりました。設備装置関連の売上高については、前年度の中国向けの大口売上が当年度には若干額となったため、その影響で前年同期からは減額しておりますが、その他の設備装置関連の売上高については、増額しております。このため、本部全体の売上高は86億82百万円（前年同期比95.1%）となりました。

#### 中日本本部

東海地区が担当エリアであり、全体の売上高の約13%を占めております。

当第1四半期連結累計期間は、営業活動を本格化したことにより、受注高が先行して増額しております。また、動伝部品、設備装置関連の各部門の売上高についても、重工業向けや一般機械部品、自動車関連を中心に売上が回復いたしました。このため、本部全体の売上高は32億20百万円（前年同期比120.5%）となりました。

#### 開発戦略本部

当企業グループ全体の海外ビジネスやマテリアルビジネスを担当し、それらビジネスの拡大や、制御・センシングビジネスに向けた新商品の開発にも取り組んでいる部門で、その売上高は全体の約20%を占めております。

当第1四半期連結累計期間は、海外子会社については、アジア各国がコロナ禍後の経済活動を正常化したことにより、動伝部品の売上高が回復基調であります。また、設備装置関連につきましても、特に中国において、日系企業の設備装置需要が増加したことに対応して売上高が増加いたしました。マテリアルビジネスにつきましても、介護・衛生関連商品を中心に売上高が堅調に推移しております。新規事業であるセンシング・画像処理ビジネスも新規受注をこなし、順調に売上を拡大しております。このため、本部全体の売上高は52億75百万円（前年同期比130.3%）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

① 資産

当第1四半期連結会計期間末の総資産は797億2百万円となり、前連結会計年度末に比べ47億71百万円減少いたしました。流動資産は62億31百万円減少いたしました。主な要因は、現金及び預金が41億57百万円、受取手形、売掛金及び契約資産が27億96百万円減少したこと等によるものであります。固定資産は14億59百万円増加いたしました。主な要因は、投資有価証券の時価が前連結会計年度末に比べ上昇したことにより14億54百万円増加したこと等によるものであります。

② 負債

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は443億97百万円となり、前連結会計年度末に比べ60億36百万円減少いたしました。これは主に流動負債が65億49百万円減少したことによるものであります。その主な要因は、電子記録債務が49億75百万円、支払手形及び買掛金が13億91百万円減少したこと等によるものであります。

③ 純資産

当第1四半期連結会計期間末の純資産の部は353億4百万円となり、前連結会計年度末に比べ12億64百万円増加いたしました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益を10億11百万円計上したこと、投資有価証券の時価が前連結会計年度末に比べ上昇したことにより、その他有価証券評価差額金が10億17百万円増加した一方で、配当金の支払い7億58百万円を実施したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の我が国経済は、インフレの継続や為替相場の変動、新型コロナウイルス感染症の再拡大の懸念などに強く影響され、回復の遅れが懸念されます。このため企業の設備投資マインドも弱まっている中、当企業グループでは、産業全般において、自動化・省力化の提案や環境関連機器の拡販を積極的に行うことにより業績拡大に努める所存です。また、「ESG」「SDGs」に向けた取り組みを継続し、社会的課題解決に事業を通じて貢献してまいります。

先行きが不透明な状況下、足元の受注状況は、高水準であった前年同期に比べ若干弱まってはいるものの、受注残高については依然高水準であります。また、売上高については、前期末までの受注残高が概ね納期通りに売上計上できており、良好なスタートとなっております。これが常態となるかしばらく見極めが必要であり、2023年5月9日公表の予想を据え置かせていただきます。

なお、今後の状況により、修正が必要となった場合には、速やかに修正開示させていただきます。

(通期連結業績予想)

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	親会社株主に帰属 する当期純利益 (百万円)
通期	100,000	4,250	4,600	3,050

(第2四半期連結業績予想)

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	親会社株主に帰属 する四半期純利益 (百万円)
第2四半期(累計)	50,000	2,180	2,360	1,570

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	22,927	18,770
受取手形、売掛金及び契約資産	27,966	25,170
電子記録債権	12,980	13,076
商品及び製品	2,952	2,904
仕掛品	1,191	1,379
その他	3,205	3,689
貸倒引当金	△173	△172
流動資産合計	71,049	64,818
固定資産		
有形固定資産	2,055	2,058
無形固定資産	357	387
投資その他の資産		
投資有価証券	9,825	11,279
繰延税金資産	53	31
その他	1,336	1,329
貸倒引当金	△203	△202
投資その他の資産合計	11,011	12,438
固定資産合計	13,424	14,884
資産合計	84,474	79,702
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	18,592	17,201
電子記録債務	22,987	18,012
未払法人税等	960	205
前受金	4,217	4,937
役員賞与引当金	11	—
その他	960	825
流動負債合計	47,730	41,181
固定負債		
役員株式給付引当金	126	138
退職給付に係る負債	1,804	1,830
長期未払金	211	211
繰延税金負債	330	787
その他	231	248
固定負債合計	2,704	3,216
負債合計	50,434	44,397

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,945	2,945
資本剰余金	1,867	1,867
利益剰余金	26,184	26,436
自己株式	△542	△542
株主資本合計	30,455	30,707
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,231	4,248
繰延ヘッジ損益	△0	△9
為替換算調整勘定	142	160
退職給付に係る調整累計額	△22	△18
その他の包括利益累計額合計	3,350	4,380
非支配株主持分	233	215
純資産合計	34,039	35,304
負債純資産合計	84,474	79,702

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年6月30日)
売上高	22,830	26,103
売上原価	19,468	22,022
売上総利益	3,361	4,080
販売費及び一般管理費	2,542	2,803
営業利益	819	1,277
営業外収益		
受取利息	2	1
受取配当金	158	177
その他	7	18
営業外収益合計	168	196
営業外費用		
支払利息	0	0
持分法による投資損失	4	13
為替差損	2	—
その他	5	5
営業外費用合計	13	20
経常利益	974	1,453
税金等調整前四半期純利益	974	1,453
法人税、住民税及び事業税	269	423
法人税等調整額	35	23
法人税等合計	305	446
四半期純利益	669	1,006
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△0	△4
親会社株主に帰属する四半期純利益	669	1,011



(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	669	1,006
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△69	1,017
繰延ヘッジ損益	△59	△8
為替換算調整勘定	51	21
退職給付に係る調整額	4	3
持分法適用会社に対する持分相当額	14	2
その他の包括利益合計	△58	1,037
四半期包括利益	610	2,043
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	597	2,041
非支配株主に係る四半期包括利益	12	2

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(株式報酬制度「役員株式交付信託」)

当社は、当社の取締役(社外取締役は除く)及び取締役を兼務しない執行役員(以下「取締役等」という)を対象とした株式報酬制度「役員株式交付信託」(以下「本制度」という)を導入しております。

本制度に係る会計処理については、「従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第30号 2015年3月26日)に準じております。

(1) 取引の概要

本制度は、当社が金銭を拠出することにより設定する信託(以下「本信託」という)が当社株式を取得し、当社が各取締役等に付与するポイントの数に相当する数の当社株式が本信託を通じて各取締役等に対して交付される、という株式報酬制度であります。なお、取締役等が当社株式等の給付を受ける時期は、取締役等の退任時であります。

(2) 信託に残存する自社の株式

本信託に残存する当社株式を、本信託における帳簿価額(付随費用の金額を除く)により純資産の部に自己株式として計上しております。

当該自己株式の帳簿価額及び株式数は、前連結会計年度末181百万円、59,900株、当第1四半期連結会計期間末181百万円、59,900株であります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報並びに収益の分解情報

	報告セグメント				合計 (百万円)	調整額 (百万円)	四半期連結 損益計算書 計上額 (百万円)
	東日本 本部 (百万円)	西日本 本部 (百万円)	中日本 本部 (百万円)	開発戦略 本部 (百万円)			
売上高							
一時点で移転される財又は サービス	6,217	5,548	2,669	4,047	18,483	—	18,483
一定の期間にわたり移転さ れる財又はサービス	759	3,585	2	—	4,347	—	4,347
顧客との契約から生じる収益	6,976	9,133	2,672	4,047	22,830	—	22,830
外部顧客への売上高	6,976	9,133	2,672	4,047	22,830	—	22,830
セグメント間の内部 売上高又は振替高	33	70	100	183	388	△388	—
計	7,009	9,204	2,772	4,231	23,218	△388	22,830
セグメント利益	229	583	43	184	1,041	△222	819

2. 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,041
セグメント間取引消去	△0
全社費用(注)	△221
四半期連結損益計算書の営業利益	819

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報並びに収益の分解情報

	報告セグメント				合計 (百万円)	調整額 (百万円)	四半期連結 損益計算書 計上額 (百万円)
	東日本 本部 (百万円)	西日本 本部 (百万円)	中日本 本部 (百万円)	開発戦略 本部 (百万円)			
売上高							
一時点で移転される財又はサービス	7,597	7,375	3,129	5,116	23,218	—	23,218
一定の期間にわたり移転される財又はサービス	1,327	1,307	90	159	2,884	—	2,884
顧客との契約から生じる収益	8,925	8,682	3,220	5,275	26,103	—	26,103
外部顧客への売上高	8,925	8,682	3,220	5,275	26,103	—	26,103
セグメント間の内部 売上高又は振替高	57	535	58	352	1,004	△1,004	—
計	8,983	9,217	3,278	5,628	27,108	△1,004	26,103
セグメント利益	423	795	153	223	1,597	△319	1,277

(注) 1 各セグメントの主な販売エリア及び所属する子会社は下記の通りであります。  
 なお、客先の依頼により納入先が販売エリア外となる場合があります、その場合は担当部門が所属するセグメントにて実績計上しております。

セグメント別	主な販売エリア及び所属する子会社
東日本本部	北海道・東北・甲信越・関東地区及び同地区所在の子会社5社
西日本本部	北陸・関西・中国・四国・九州地区及び同地区所在の子会社5社
中日本本部	東海地区及び同地区所在の子会社1社
開発戦略本部	日本全国・海外及び海外子会社7社

2 各セグメントに属する主要な商品は下記の通りであります。

セグメント別	主要商品名
東日本本部	変減速機等各種駆動部品、コンベヤチェーン等各種搬送部品、制御機器、各種センサー、電子機器、その他伝動機器
西日本本部	クリーンエネルギー関連設備、医薬関連設備、化学機械装置、水処理装置、食品機械、その他環境装置、工作機械、産業用ロボット、各種コンベヤ、各種自動化装置、
中日本本部	立体倉庫及び自動仕分装置、各種輸送装置を含むFAシステム
開発戦略本部	各種不織布及びその加工品、各種合成樹脂成形機及び成形品、機能素材 センサ、産業用カメラ・レンズ、画像処理システム

2. 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,597
セグメント間取引消去	△7
全社費用(注)	△312
四半期連結損益計算書の営業利益	1,277

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

### 3. その他

#### ・補足情報

##### (1) 受注、販売及び仕入の状況

###### ① 受注実績

当第1四半期連結累計期間における受注実績を報告セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高(百万円)	前年同四半期 増減比(%)	受注残高(百万円)	前年同四半期 増減比(%)
東日本本部	8,489	△21.2	24,075	△0.9
西日本本部	8,801	△15.1	27,287	△7.0
中日本本部	3,973	+6.7	8,833	+29.6
開発戦略本部	5,273	+10.0	6,922	+15.8
調整額	△534	—	△2,343	—
合計	26,003	△7.4	64,775	+2.4

###### ② 販売実績

当第1四半期連結累計期間における販売実績を報告セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	販売高(百万円)	前年同四半期増減比(%)
東日本本部	8,983	+28.2
西日本本部	9,217	+0.1
中日本本部	3,278	+18.2
開発戦略本部	5,628	+33.0
調整額	△1,004	—
合計	26,103	+14.3

###### ③ 仕入実績

当第1四半期連結累計期間における仕入実績を報告セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	仕入高(百万円)	前年同四半期増減比(%)
東日本本部	7,635	+23.2
西日本本部	7,776	+0.7
中日本本部	2,755	+18.0
開発戦略本部	4,999	+41.3
調整額	△1,004	—
合計	22,163	+14.2

##### (2) 株式報酬制度の継続に伴うお知らせ 別の開示資料を御参照ください。